

福島第一原子力発電所 増設雑固体廃棄物焼却設備の運転状況

TEPCO

2022年6月24日

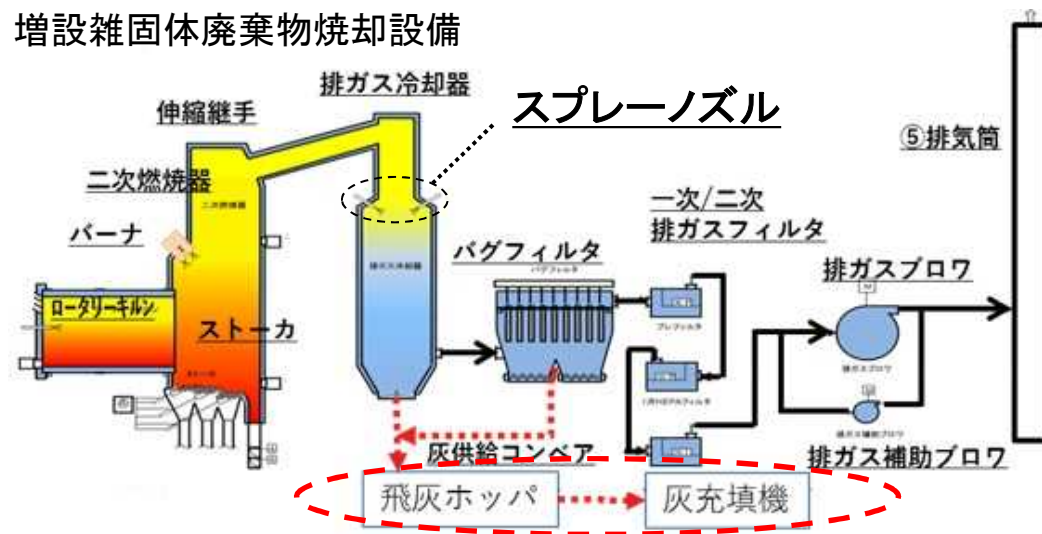
東京電力ホールディングス株式会社

1. 増設雑固体廃棄物焼却設備の運転状況

- 5月23日、増設雑固体廃棄物焼却設備は、焼却運転を再開した。
 - 6月10日、焼却運転中、飛灰を容器に充填するにあたり、飛灰充填装置の内部を確認したところ、飛灰の充填口から水の滴下があり、更にその上流にある飛灰ホッパ(飛灰を貯留する容器)の内部に水があることを確認したため、焼却運転を停止した(スライド2参照)。なお、外部への放射性物質の漏えいは確認されていない。
 - 現在、設備の内部確認等を行い、原因について調査中。
 - 当該系統へ水を供給する機器としては、排ガス冷却器のスプレー水があり、スプレーノズルの詰まり等、噴霧機構に不具合が生じ、蒸発しきれない水分が、灰の取出し系統に混入している可能性がある。
-
- 6月18日、パトロールにおいて、二次燃焼器とストーカを繋ぐプレートと、ロータリーキルン取合部のシール溶接部の2箇所に亀裂があることを確認した(スライド3参照)。
 - 確認時、焼却運転は停止しており、また、亀裂のあった系統内は、ブローにより負圧に維持されていることから、外部への放射線物質の漏えいはない。
 - 今後、現場調査等を行い、原因について調査する。

2. 飛灰ホツパ内の様子と原因調査状況

増設雑固体廃棄物焼却設備



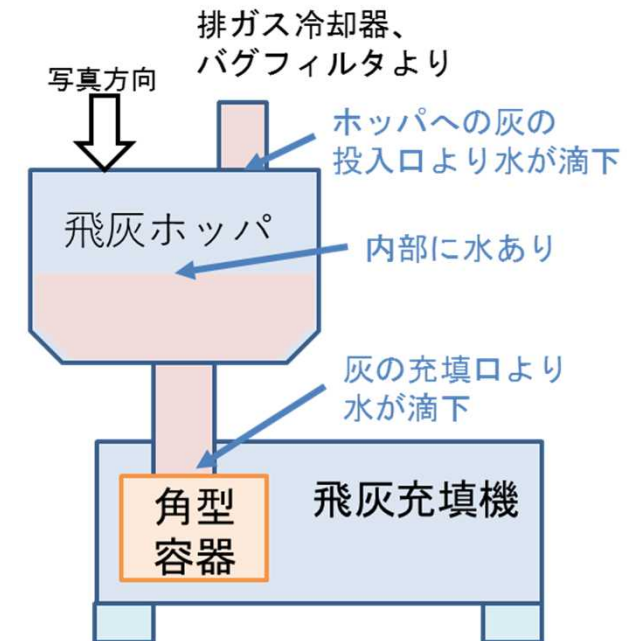
飛灰ホツパ内部の様子

飛灰ホツパ内の様子

- 灰と水分が攪拌され、泥状になっている様子を確認（右上写真参照）

原因調査状況

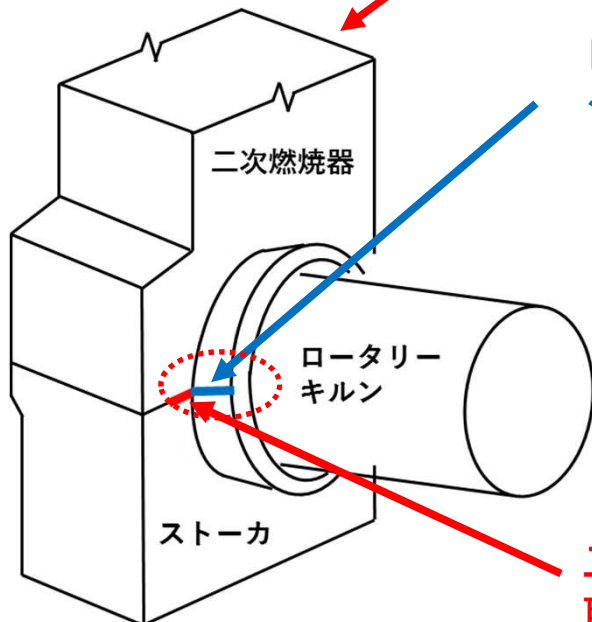
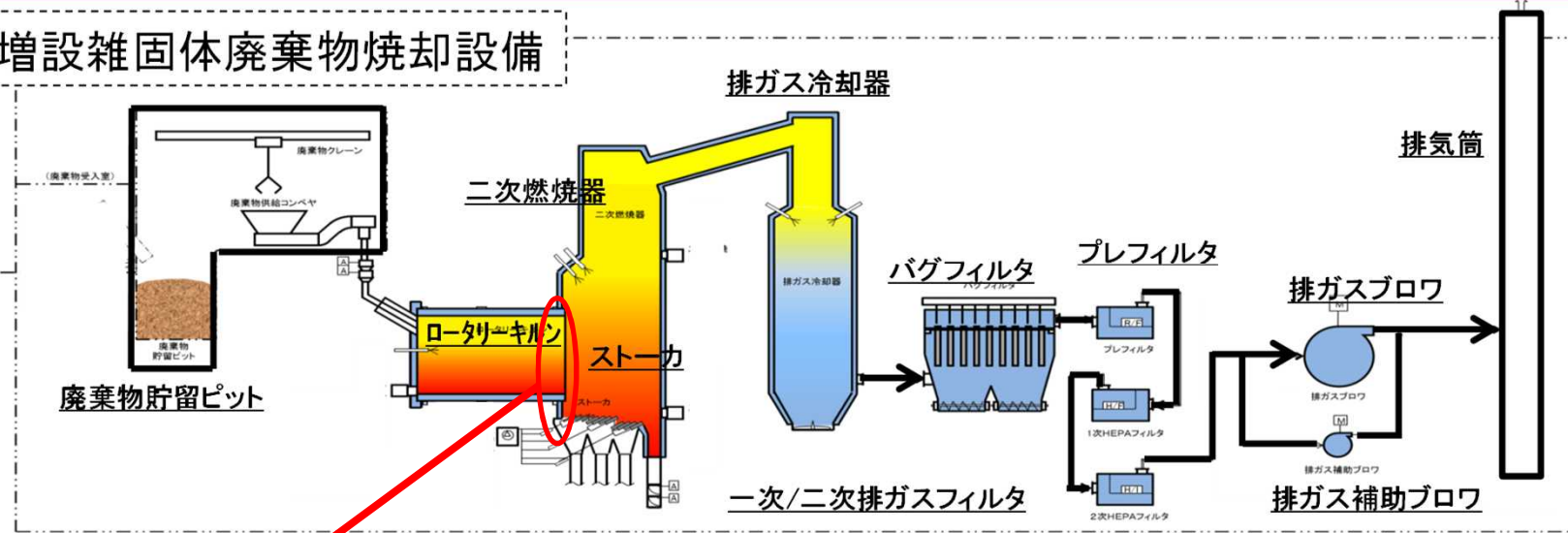
- スプレーノズルの外観では灰の詰まり等、有意な異常は確認されなかった。今後噴霧試験を計画する。
- 排ガス冷却器底部および排ガス冷却器から発生した灰の搬送コンベア内部を確認したところ、湿潤した灰を確認した。
- 一方、バグフィルタで発生した灰の搬送コンベア内部の灰は乾燥していることを確認した。
- 系統内部の清掃を実施中



飛灰ホツパ及び飛灰充填機の模式図

3. 二次燃焼器とストーカを繋ぐプレート他の亀裂状況

増設雑固体廃棄物焼却設備



亀裂確認箇所の模式図

ロータリーキルン取合部
シール溶接部

二次燃焼器とストーカ
取合の塞ぎプレート

亀裂箇所

